

社協だより

しらいわ

第5号

《編集・発行》

白岩地区社会福祉協議会

会長 鈴木文夫

コロナについても一度考えよう



白岩地区社会福祉協議会

会長 鈴木文夫

地域の皆様方には、日頃より白岩地区社会福祉協議会の事業活動に対し、御理解と御協力を賜り心より感謝申し上げます。

皆さん、新型コロナウイルス感染症が始まって五年になります。いまだ感染の勢いは収まりません。もう一度コロナについて考えてみませんか。感染者数も山形県内について、令和七年二月十日～十六日の結果を見ると、県内トータルで一五二名、当村山保健所で四七名となっております。これは医療機関にかかった人の数であり、隠れコロナ感染者を入れるといくらになるのか？では、新型コロナウイルスについて、おさらいをしてみしましょう。

◎どんな症状が出るの？

(1) よくある症状。発熱(三七・五度以上)、咳や息苦しさ、だるさ (2) こんな

症状もあるかも。のどの痛み、鼻水、おう吐や吐き気、下痢

◎なぜ怖いのか？

(1) 治療法がない。確実に症状を治したり、死亡率を下げる治療法がないのが現状です。とはいえ、多くの人は自分の免疫だけで治せる病気でもあります。症状が出て九〇%の人は普通の風邪の症状で済みます。しかしながら、悪化する割合が普通の風邪より高いため、約一〇%の人が悪化して肺炎になる可能性があり、さらに二・五%の人がより悪い状態になるそうです。治療法がないため、治療の方法が限られてしまします。そこが怖いところ

◎新型コロナウイルス感染は終わったの？

残念ながら、まだ終わっていないか、わからないのが現状

です。では、日常生活の中でどうすれば良いのか？

まず、風邪をひいたら休もう。感染しやすい時期は発症前後と言われています。症状が出る二日～三日前から症状が出て七日目まで感染力があります。八日目以降は感染力が弱くなります。そのため、風邪をひいたらすぐ自宅に休むことが最も重要です。仕事も家事も学校もあるでしょう「ちよつとの風邪だから」と無理しがちですが、その行動が、感染を拡げてしまいます。具合が悪ければ気兼ねなく休める環境や雰囲気、文化をつくっていきましょう。

家庭や職場でできることといえば、手洗いをこまめにし、アルコール消毒しましょう。飛沫を吸わないように、お互いに距離を確保し、マスクを常に着用し、こまめに換気をし、お互いに咳エチケットを守ること。身の回りを清潔にし、一日一回ウイルスのついていないような場所を拭き取る。何よりも体調がよければ休むことが最優先です。皆さん、くれぐれもお体を大切に！

令和7年度 白岩地区社会福祉協議会 主な活動計画

- (1) 白岩地区社会福祉協議会 総会
- (2) 町会長・民生委員児童委員・地域福祉推進員の三者会談
- (3) 地域見守りネットワーク事業への協力
- (4) 民生委員児童委員・主任児童委員による保育園・小学校・中学校の授業参観および教職員との意見交換
- (5) 学童保育「さくらっこクラブ」への協力(毎月の役員会出席、各種行事参加、春・夏・冬休み中の見守り保育に協力)
- (6) 地区社協委員の一日研修会
- (7) 福祉活動への助成(各町会の敬老会及びサロンへ)
- (8) ボランティア活動(介護施設・保育園等へ清掃奉仕等)
- (9) 赤い羽根共同募金への協力(さくらっこクラブ児童の街頭募金活動の引率指導、他)
- (10) 歳末たすけあい運動募金の配分委員会
- (11) 社協だより「しらいわ」第5号の発行

町会長をやめた数年後、令和二年より始まり今年度で五年間推進員をしたことになりました。町会長のときは、地域福祉推進員をお願いする立場でありましたが、いざ自分が任務に当たり想像以上に勉強になりました。

第一に、訪問する際に相手の方がどうすれば不安感を持たず、本音で語ってくれるのか。その工夫の結果、近況報告の情報を得て、相手から「笑顔」がもたらえた時は最高でした。話題としては、相手の立場にたち、相手が得意とする分野になる心がけました。期間中に「コロナ感染」という今までになかったこともあり、町会の行事もなくなり訪問する際は



龍地区・地域福祉推進員

那須 吉春

地域福祉推進員になって

います。笑い合い、和み合う中で、自分の力を再発見し、いつまでも尊厳を持って生きていけるよう、寄り添い続ける介護を目指しています。

なお、母体である（有）青空介護サービスは、平成十七年に河北町西里に設立され、現在は通所介護、訪問看護、居宅介護の三事業所を運営しています。

あなたの口の中、健康ですか？

鈴木歯科医院
院長 鈴木 修司

この数年、歯科の診療所に整形外科からの紹介状を持参する患者さんが増えております。人工関節置換手術の予定で、術前の口腔内の状態確認の紹介です。口の中に病気があり、そこから細菌が血液に入ると手術部が無菌状態でなくなるため、手術した人工関節に感染を引き起こすリスクが出てきます。整形外科の先生はそのリスクを低減するため、口の中の病気の治療や口の清潔を保つ口腔ケアを歯科に依頼するのです。紹介状には、口腔内の状態が良くならなければ手術時期を延期するので連絡してほしい、とまで書いてあります。また癌で手術予定の患者さんの口腔ケアの依頼も増してきております。さすがに癌手術の場合は手術延期はできないので、予定日までにはできる限りのことしかできませんが、それだけでも予後にかかりの効果が期待できるようです。

周術期という言葉が聞かれたことがありますか？入院・麻酔・手術・回復の一連の期間を指すのですが、前述の整形外科や癌の手術の場合など、口の中の状態が手術後の合併症予防や身体の回復に影響を与えることがわかってきたのです。また歯周病は糖尿病や心臓病のリスクを高めることがわかってきたから、内科の

先生の中にも口を最初の消化器官ととらえ、口の健康を重要視する方が増えてきております。

さて皆さんはお口の健康に自信がありますか？歯の病気は、自覚症状が出た時には比較的病状が進んでいることが多いのが特徴です。そのため定期的に歯科検診を受けることが大事です。高校生までは学校で検診があり治療も無料でできますが、それ以降の年齢になると個人が望まない限り検診機会もなく、症状が出ないと歯医者さんには行きたくないのも人情です。

そこで受診のきっかけとして山形県歯周疾患検診という事業を利用してはいかがでしょうか。20歳から10歳刻みに70歳迄が対象で、75歳以上は高齢者医療確保法による検診に移りますが、どちらも対象者に封書で連絡が届き、無料または補助金が出るので安価で診てもらえ、現在の口の中の状態を教えてもらえます。検診をきっかけに悪いところの治療や、必要な方は治療とは違う口腔内を清潔に保つ口腔ケアを定期的に受けることなどで、いざという時医科の先生に迅速に対応して頂け、かつ日頃の健康維持に役立てるといえるのではないでしょうか。是非、ご検討ください。



自分が感染していないか、相手も感染していないかを電話で確認し、短時間の訪問もしくは畑での農作業時の話し合いに切り替えました。

第二に、相手も毎年歳を取ると同時に自分も歳をとり、足腰に不安が

増すようになりましたが、幸い毎日犬の散歩をしながら近所の方から情報をもらって、困ったことがあれば電話で確認し訪問、相手方の不安解消に努めました。

この春に、この役職を別の方と交

替しましたが、今後については、地区に後期高齢者が多い中、自分のその中の一人として健康に留意して、精一杯の協力をしたいと思っています。

イベントから繋がり



中町町会長

安孫子 啓

一昨年コロナウイルス感染症の位置づけが五類へ移行されたことにより、昨年は中町町会の年間行事を滞りなく開催することが出来ました。

まず体協主催では、運動会が天候不順で中止となりましたが、ユニカール、ランドゴルフ、ソフトバレーボール大会は開催されました。どの競技もいろんな世代の方が悪戦苦闘しながら、一生懸命頑張ってくれている姿は最高の財産だと思っています。この若い世代が、これから町内会運営を担ってくれることを願っています。中でもソフトバレーボール大会では、女子優勝、男子三位と優秀な結果を残してくれました。出場選手そして応援して下さいました皆様へ感謝を申し上げます。

そして行事の中で楽しみにしているのが「そばを楽しむ会」です。そば打ち経験者の指導の下、そば粉を捏ねて練る人、平らに丸くのしてい



く人、お好みの太さに切る人、そして茹でる人、それぞれの行程に参加者が積極的に参加してスタッフと一緒に汗を流し、各行程で協力し合いながら楽しんでやっています。水を入れ過ぎて捏ねることが出来ない失敗もありましたが、それもまたそば打ちの醍醐味だと思います。捏ねる一員として、エプロンを掛け、腕まくりをしながら積極的に頑張っている子供さんを見て、明るい未来を感じることが出来ました。そしてそばが茹で上がり、それに色を添えてくれたのが、サロンの皆様による天ぷらとフルーツです。なんといっても、参加者が自分で作ったそばを食べるのが楽しみの一つです。そしてやっぱり美味しいと言いながら食を楽しんでおられました。そばを楽しむ会は、コロナの影響で五年ぶりの開催となりました。これからも継続して開催していきたいと思っています。

さて社会福祉協議会活動としては、年に一度の研修会で、他の市町村の活動に接し、意見交換をしながら情報を共有し合い、より良い福祉活動に活かしております。

そして各地区の民生委員や福祉推進員が一人暮らしの方々などを中心に訪問して、様子の確認をして戴いています。本当に感謝申し上げます。

「尊厳を支える日々の暮らし」
笑和感・せせらぎ草より
青空介護サービス デイサービス笑和感
施設長 岡田 直樹

町内会長としては、三者会談（町会長・民生委員・地域福祉推進員）に於いて現状や問題等を共有し、連携していくことが大切だと思っております。個人情報関係等、様々な面で配慮が必要ですし、すぐに解決出来ることばかりではありませんが、それぞれの立場を理解しながら連携して、より良い地域を目指していきたいと思っています。

笑和感は、笑って、和んで、感じ合う。をテーマにした家庭的な通所介護施設です。看護師・介護福祉士・作業療法士などの専門職がチームで連携し、心身のケアだけでなく、生活全体を支える支援を行っています。日々のリハビリやケアに加え、おやつ作り、手芸、編み物、大人の学校など、その方の「できること」や「やってみたい」を引き出す活動が特徴です。

中でも好評なのが、手作りの惣菜やパン・お菓子などの食料品販売。特に買い物に困難な一人暮らしの方に喜ばれています。また、季節ごとの外出レクや、敷地内の畑での作業も人気で、自然とふれあひながら、誰かと協力し、「できた！」という実感を積み重ねる中で、生きる力が育まれています。

併設する「有料老人ホームせせらぎ草」は、小規模で家庭的な雰囲気の中、要介護認定を受けた十一名のご利用者様が暮らし住まいです。同じ建物内のデイサービスと連携しながら、切れ目のないケアを提供しています。住み慣れた地域で、安心してその人らしく暮らし続けられるよう支えています。

私たちは、「できないことを補う」だけでなく、「できることをともに見つけ、活かす」視点を大切にして

学校訪問(白岩小・陵西中)



白岩小での授業参観

一目研修会



YBC・山新印刷センター

介護施設訪問



特老さくら・特老さがえ

ボランティア活動



特老さがえ(寝具入替・清掃)

❖❖❖ 各町会 見守りネットワーク お気軽にご相談ください ❖❖❖

令和7年度 白岩地区社会福祉協議会 役員

役職名	氏 名	役職名	氏 名
会 長	鈴 木 文 夫	常任委員	安孫子 啓
副 会 長	菖 蒲 清 一	会計事務局	兼 子 健 司
副 会 長	東海林 芙美子	監 事	長谷川 健 司・大 沼 真理子

町会名	町会長	民生委員児童委員	地域福祉推進員
陣ヶ峯	松 田 正 敏	東海林 芙美子	安 部 仁
新 町	菖 蒲 清 一		鈴 木 芳 弘
			宮 林 弘 見
中 町	安孫子 啓	鈴 木 正 俊	浦 山 浩 之
上 町	中 村 雅 伸		大 沼 友 勝
			野 尻 紀美子
麓	浅 黄 貫 一	鈴 木 文 夫	東海林 みゆき
上 野	寺 崎 達 朗		寺 崎 徳 子
			川 口 進
宮 内	長谷川 健 司	兼 子 健 司	鈴 木 由美子
楯	佐 藤 俊 文		青 木 和加子
留 場	大 沼 米 男		設 楽 ひと美
田 代	佐 藤 勝 則	渡 邊 正 則	公 平 多紀子
			菖 蒲 清 美
			奥 山 眞知子
幸 生	菊 地 吉 彦	佐 藤 秀 光	佐 藤 千代子
			宮 林 京 子
			菊 地 清 廣
		菊 地 眞知子	永 井 興 生
主任児童委員		佐 藤 暁 美 ・ 大 沼 真理子	